



はじめまして！私は食品科学専攻大学院生の高橋千亜紀です。トビタテ！留学JAPAN地域人材コース第5期生として、台湾の屏東縣にある国立屏東科技大学で研究を行い、台湾にある諸島の澎湖と淡水で農業ボランティアを行ってきたので報告します。私は大学院修了後食品メーカーの商品開発職に就職したいと考えていました。大学院進学時にトビタテの存在を知り、もし海外からの多様な視点を得ることが出来れば、石川県の食品産業に貢献できる人材になれるのではないかと考え、留学を決意しました。

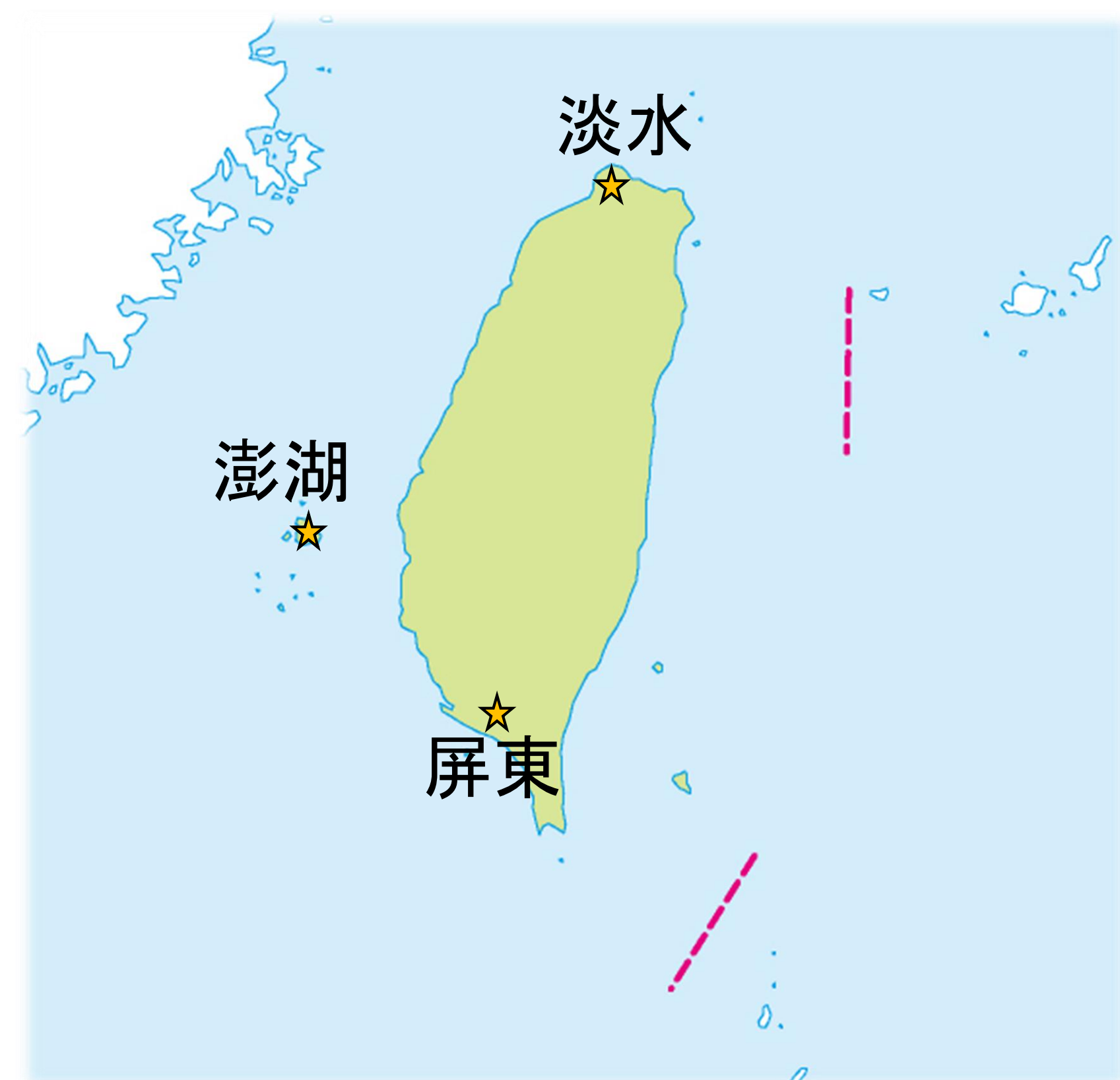
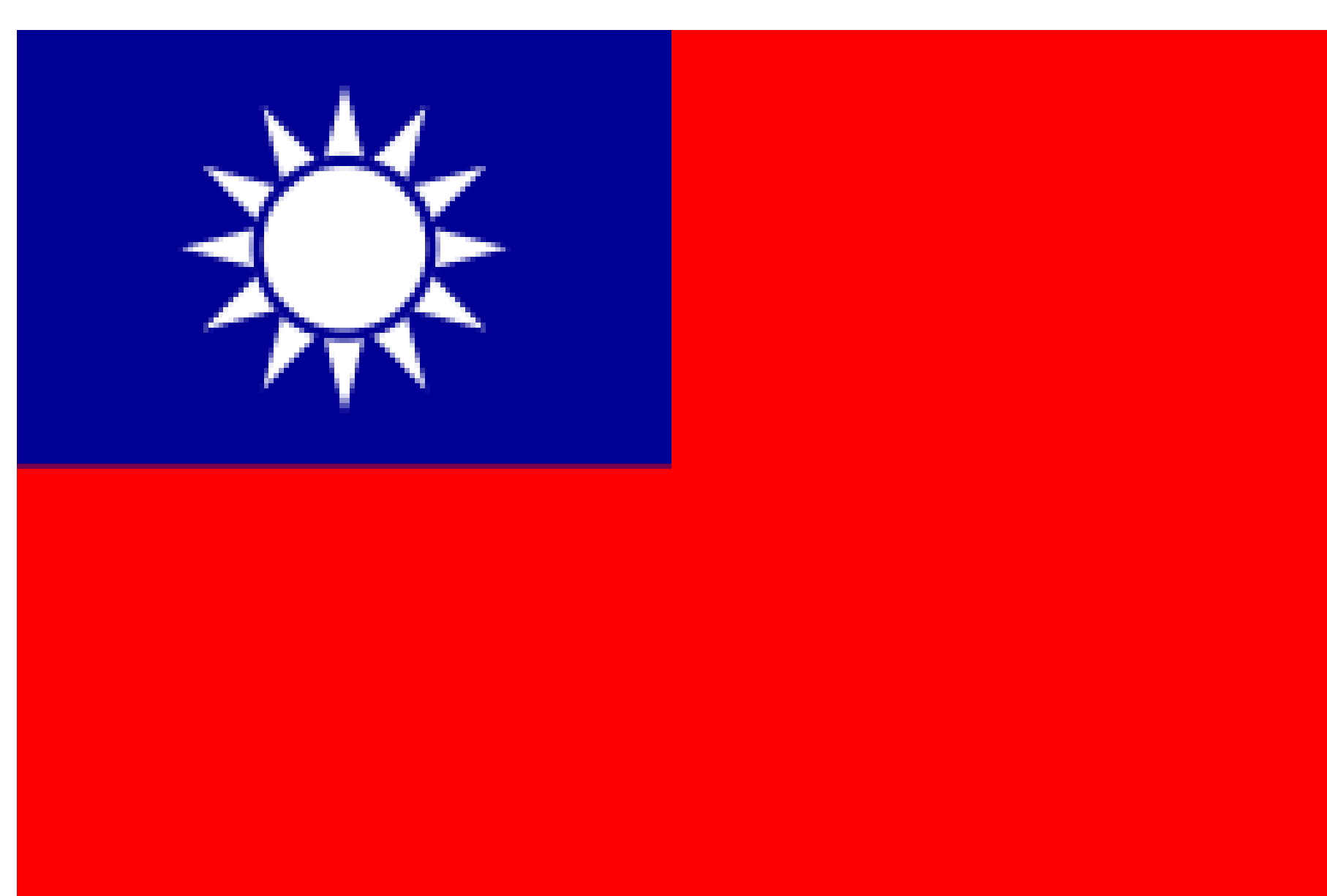
大学での研究生生活



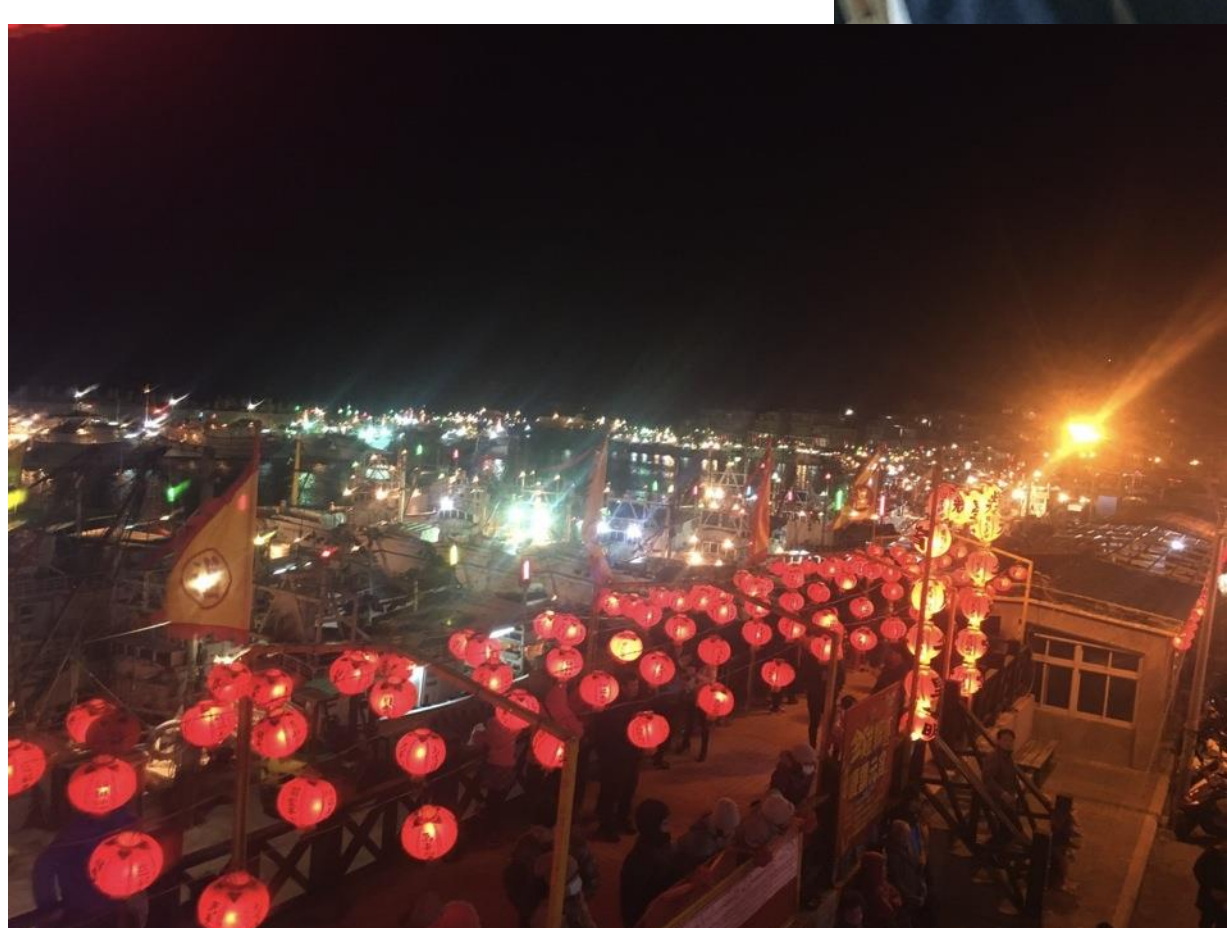
大学では研究、セミナー参加、食品学会への参加、華文クラスで語学学習など行っていました。研究では「プラズマによるきのこのへの影響」を調べました。学部生時代からきのこの酵素について研究していた繋がりがからきのこの研究を行いました。しかし、留学先では1から実験を計画したり、日本と比べて研究設備があまりよくなかったこともあり、留学中に研究成果は出せませんでした。しかし、何とかしてプラスに動こうと毎日奮闘の日々を過ごしていました(笑)

日本・石川県発信活動

私は台湾で日本の文化や石川県についての発信活動を行いました。留学生対象の華文クラスでは、「きもの」や「納豆」の紹介、台湾人のクラスメイトには石川県の鼓門や海鮮丼、また方言を載せた情報付きの年賀状を配布しました。元々親日国である台湾ですが、さすがに石川県のことは知らなかったらしく、興味を持ってもらえたことはとても嬉しかったです。



農業ボランティア



学外の活動として私は澎湖と淡水でそれぞれ十日間農業ボランティアを行いました。澎湖では畑の開拓を1から行ったり、台湾の旧正月イベント「元宵節(ユエンシャオジエ)」という伝統的なイベントに参加しました。淡水では自然農法について学び、改めて自分が食べているもの、改めて自分自身の体を作っている

台湾のお弁当事情！ 安くてかなり満

台湾に来てから一番驚いたことに、学生たちの自炊事情がありました。台湾の学生(私の大学だけかも?)はほとんど自炊をしません。アパート自体にキッチンがないことも珍しくありません。そこで、学生たちは毎日お昼はお弁当を買ってきます。私も毎日一緒に注文して食べていました。基本のお弁当スタイルは、「ご飯、お肉、副菜3種です。お弁当屋さん」に直接行くとまずお肉を頼み、次にたくさんある副菜から三つ選びます。驚くのがそのお値段。大体の値段が80円、日本円で300円くらい。かなりボリュームがあつてこのお値段だったので、帰国時にはかなり増えていました(笑)しかし食こそ異文化に一番触れられるため、とても面白かったです。特に美味しかったのは写真上の鶏排(チーパイ)フライドチキンと写真下の鶏腿(チートエ)鶏肉(チー)です。

